

繋 谷地南部っ子

令和7年度 学校便り
R7. 11. 14
NO 18
校長 秋場 一憲



経営キーワード「言葉（言葉遣い・言語力）」・自立（自ら判断実践・協働的解決・新たな課題追究）」

読書の秋！！ 本に親しませ、想像力等を伸ばす

子供たちの学力に繋がる言語力を磨くために、9月より毎週火・木曜日に朝読書を始めています。また、各学年の国語学習と並行して、関連する図書の積極的な読書を奨励しています。その他、図書室前には季節感のある「ハロウィンに関する図書コーナー」を設置するなど、読書に親しむ環境づくりに力を入れています。そして、11月5日（水）には、べにの里昔語りの会とひまわりサークルの皆様方による全学年対象「移動お話し会」も行いました。まさに「読書の秋」真っ盛り！！ これからも子供たちが読書に親しむ環境を整え、言語力や想像力を育てていきたいと思ひます。ぜひ各ご家庭でも、親子でお気に入りの一冊を探してみたいはいかがでしょうか。



移動お話し会の一場面



各学年の関連図書コーナー



図書室前の紹介コーナー

5年生とひかり幼稚園児との温かい交流

11月4日（火）に5年生がひかり幼稚園を訪問。来年度からの縦割り班活動等での本格的な関わりに備えての交流です。園児と楽しく話をしたり一緒に遊んだりしたほか、南小祭で発表した「ソーラン節」を改めて披露してきました。園児からの大きな拍手に、5年生は自信と確かな手ごたえを感じてきました。



若手・新任教職員&町職員紹介シリーズ 第4弾

今回は、新任教職員2名を紹介します。フレッシュな目で谷地南部っ子とかかわり、その中で子供たち一人一人の良さをたくさん見つけ、かつ引き出していただいています。

第4弾:阿部真理子 教諭・小野紫織 教員業務支援員



子ども一人一人を伸ばす指導

以前に本校への勤務経験がある阿部真理子 教諭は、今年度、新採教員支援並びに教科専科という立場で勤務いただいています。具体的には、2年生の学習支援のほか、5・6年生の音楽指導等です。毎朝笑顔で出勤し、子供たちと笑顔で会話しています。2年担任の池田教諭と日常的に対話し、授業デザイン等のアドバイスをいただいています。また、子供たち一人一人の様子をきめ細やかに見取り、成長場面や気になる点などを即時担任等と情報共有し、今後の指導に生かすことができています。

子供たちの笑顔とがんばる姿を見ることが大好きです。子供たちと楽しい学習を創っていきたく思います。(阿部 教諭)

今年度から本校勤務となった小野紫織 教員業務支援員。職務内容は、文書受付や各種印刷、各学年の教育活動に係る写真掲示や装飾、来客対応など多岐に亘りますが、いずれの内容も迅速かつ丁寧に行っており、担任はもちろん管理職も大変助けていただいています。

また、子供たち一人一人の様子を温かく見ていただいているほか、職員室内での他の教職員とのコミュニケーションも笑顔で積極的に行い、雰囲気を明るく和やかにしていただいています。



子供たちの笑顔に、毎日元気をもらっています。どんな業務も丁寧に行っていきたいと思います。(小野 教員業務支援員)

第6回校内授業研究会(ふたば1組)で学んだこと

11月6日(木)、第6回校内授業研究会でふたば1組担任の兼子かおる 教諭が、国語「おはなしすごろくをしよう」の授業を提案しました。自作のすごろくを楽しみながら、ます目に書いてあるお題(南小祭の配役や好きな食べ物・色・形など)について質問したり答えたりするという内容です。担任も一緒に混ざりながら、子供たち同士の会話を楽しむことができました。「話す・聞く」という言語力・コミュニケーション力は、将来、自立・就労し、社会人として生きていくために欠かせない基礎基本です。今後もふたば学級の学習で基礎基本を定着させ、交流学习等で社会力を身に付けさせていきたいと思っています。



お話しすごろくを笑顔で楽しむ

【楯岡特別支援学校教諭からのご指導(骨子)】

◎グループ協議で話題になったこと

○最初の「口の体操」がとても良く、子供たちの声の大きさや発音がはっきりしていた。

◇今後の授業改善で意識して欲しいこと

○毎時間の学習のゴールの姿、そして就労時の目指す姿をイメージし授業デザインを行う。

○「話す」ことに留まらず「発表する」場を設定することで、一層力を伸ばすことに繋がる。

○記憶に残る学習活動や手立てを入れることで、確実な定着に繋がる。